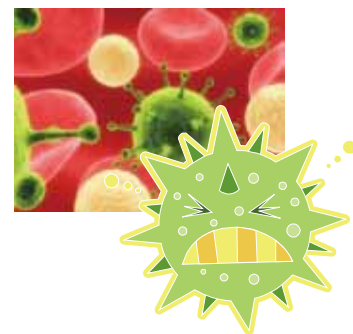


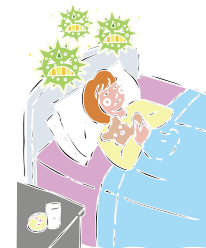
健康相談サービス、ご相談事例



Q.「RS ウィルス」って、どんなウィルスですか？

・事例： もみい かつおさま（仮名）から、お子様のご相談

来月で1歳になる男の子がいます。朝晩に気温が下がるためか、風邪をひいて小児科の先生に診察をしていただきました。軽い風邪と言う事で、もらったお薬を飲みきって症状は治まっています。特に心配な症状や様子はありますが、先生から「RS ウィルスに感染したね。」と、言われました。心配は無いからと、先生は仰いましたが、「ウィルス」と聞いて気を揉んでいます。「RS ウィルス」って、どんなウィルスですか？ほとんどの子供が感染する、と聞いたのですが、このウィルスに感染したのが原因で大きな病気を起こすことは無いのでしょうか。今回は特に何もなく治ったようですが、もし何回も感染するのでしたらどんな症状がでるのか、何に注意すればいいのか、と言ったようなことを教えてください。上に4歳の女の子がいますので、上の子が弟から感染しないかも心配です。



回答：看護師がお応えしました

はい。あまり聞き慣れないウィルスですね。

「RS ウィルス」とは？というご質問からお答えしましょう。簡単に言いますと、風邪ウィルスの一種です。「RS ウィルス」は2歳児までにはほぼ100%の乳幼児が感染します。生後数ヶ月の赤ちゃんでも、母体からの抗体だけでは感染に対する抵抗力が不十分なために感染する恐れがあります。

発症のたびに症状は軽くなっていきますが、感染力が強いので、1歳未満の乳幼児が感染した場合、気管支炎や肺炎をおこす事もあり、重症化した場合は緊急入院が必要になることもあります。1歳未満の乳幼児が感染した場合は症状や機嫌の良し悪しを充分に見ることが大切です。治療法は特別なものはなく、感染経路も子供同士で遊んだり、外出先で感染したり、お子様の場合は風邪と同じようにうつってきます。

症状も風邪に似ていますので、風邪と診断されることが多いのですが心臓の病気、呼吸器が弱い、喘息、早産・未熟児のお子様の場合は重症化しやすいので、十分な注意が必要です。

感染した場合は、高熱になることもありますので熱に注意して下さい。また、高熱で胃腸障害をおこして下痢をすることもありますので、十分な水分補給をしましょう。感染したら、苦しそうな呼吸をしていないか、肩で呼吸をしていないか、機嫌は普段と変わりないか、といったことにも気をつけてください。十分な水分補給と安静、バランスの良い食事と保温等、風邪と同じようなことに気を配って様子を見てください。

機嫌がいつもより悪かったり、呼吸が苦しそうな場合は、呼吸器の持病が無くても、小児科の診察を受けるようにしましょう。